○弔詞案起草に関する特別委員会

件名	提出者	提出月日	委員会付託	委員会議決	本会議議決	備考
弔詞案起草の件（大行天皇崩御につき弔意を表するための弔詞案）			元、一、九	元、一、九 弔詞案起草	元、一、九 可決	

弔詞

大行天皇におかせられては　国民こぞって　御健康と御長寿を乞い願い奉っておりましたところ　にわかに　崩御あらせられました

大行天皇におかせられては　御在位六十有余年　その間内外極めて困難なときに際会せられました

大行天皇におかせられては　清明無私　常に憲法に則られて御精励あらせられ　内に臨まれては　国民生活の安定と向上　文化の振興に　外に接せられては　列国との友誼の深厚　世界の平和に　み心をそそがせられ　また御研究を通して　自然の摂理　真理の探究の尊さを　国民にお示しにならせられ　人みな尊崇敬仰申し上げているところでありました

大行天皇の崩御に　国民は斉しく　悵悵として悲嘆措くところを知らないものがあります

参議院は　ここに国民の至情を代表して　謹んで弔意を表し奉ります

委員長報告

弔詞案起草に関する特別委員会における弔詞案起草の経過及び結果につきまして御報告申し上げます。

大行天皇におかせられましては、去る一月七日、にわかに崩御あらせられました。まことに痛惜哀悼にたえないところであります。

先ほどの本会議におきまして指名されました特別委員は、直ちに会議を開き、委員長の互選を行いましたところ、委員長に私、嶋崎均が互選されました。

引き続いて、弔詞案の協議に入りました。

案文の起草に当たりましては、大行天皇が御在位六十有余年を通じてお示しにならせられた世界平和と国民の幸福増進への御信念、それを実現するために御精励にならせられたお姿、御学問研究を通しての真理探究の御熱意、国民の敬愛の的であらせられた御誠実なお人柄などをおしのび申し上げながら、国民の至情を代表し、全議員の哀悼の誠意をあらわすべく慎重に協議をいたしました。

その結果、全員一致をもちまして次のような成案を得た次第でございます。

弔詞案を朗読いたします。

大行天皇におかせられては　国民こぞって　御健康と御長寿を乞い願い奉っておりましたところ　にわかに崩御あらせられました

大行天皇におかせられては　御在位六十有余年　その間内外極めて困難なときに際会せられました

大行天皇におかせられては　清明無私　常に憲法に則られて御精励あらせられ　内に臨まれては　国民生活の安定と向上　文化の振興に　外に接せられては　列国との友誼の深厚　世界の平和に　み心をそそがせられまた　御研究を通して　自然の摂理　真理の探究の尊さを　国民にお示しにならせられ　人みな尊崇敬仰申し上げているところでありました

大行天皇の崩御に　国民は斉しく　悵悵として悲嘆措くところを知らないものがあります

参議院は　ここに国民の至情を代表して　謹んで弔意を表し奉ります

以上でございます。

何とぞ満場一致の御賛同をお願い申し上げまして、報告を終わる次第でございます。